

2015合格者座談会 理系



最後まで粘り強く勉強する姿勢が大切

※本文中に出てくる「青本」はSEG高2冬期～高3春期の数学のテキスト、「クリーム本」はSEG高3・1学期の数学のテキストです。

自己紹介

SEGに入ったきっかけ

大澤 まず自己紹介と、SEGに入ったきっかけを教えてください。

五三 筑波大学附属駒場高校から東京大学理科I類に進学した五三裕太です。僕は中1からSEGに通っているのですが、入ったきっかけは自分ではよく覚えていません。小学生のとき、算数オリンピックのファイナル大会に出場したのですが、その表彰式で古川先生の話聞いて、SEGに入りたいと言ったと、母からは聞かされています(笑)。

西角 海城高校出身で、東京工業大学第5類の西角哲です。高1のとき、親から洋書が読めるようになっていいのでと、多読の授業があるSEGを勧められました。高2からは数学の授業も受けました。

野田 東洋英和女学院高等部出身で、東京大学理科I

類に行っている野田早紀子です。SEGには、もともと姉が通っていたので、私も高1から入りました。遠藤 学習院女子高等科出身で、東京大学理科III類に進学した遠藤理子です。私も姉がSEGに通っていて、小6のときに連れて来られました(笑)。結局それからトータル7年間通ったことになります。

石田 開成高校から東京大学理科I類に進学した石田涼です。知り合いのお兄さんがSEGに通っていて、理系科目に強い塾だと聞いたので、中3の途中から通い始めました。

SEGの印象

友達がしやすい環境

大澤 SEGで印象に残っていることを聞かせてください。

西角 多読の授業で、ネイティブの先生と会話して、

	 Ryo Ishida	 Yuta Itsumi	 Riko Endo
	石田 涼 東京大学理科I類 (開成高校)	五三 裕太 東京大学理科I類 (筑駒高校)	遠藤 理子 東京大学理科III類 (学習院女子高等科)
後輩に薦める参考書は？	・『名問の森』(河合出版)	・『1対1対応の演習 数III編』2冊(東京出版) ・『英文法ファイナル問題集 難関大学編』(桐原書店) ・『東大25カ年』シリーズ(教学社) ・『漢文ヤマのヤマ』(学研マーケティング)	・『SPEED攻略 10日間 国語古典文法基礎編』(Z会出版) ・『SPEED攻略 10日間 国語漢文』(Z会出版) ・『センター試験 政治・経済集中講義』(旺文社)
最近読んで面白かった本は？	・『福翁自伝』(岩波書店)	・『4-2-3-1サッカーを戦術から理解する』(光文社新書) これは、1900年代終盤から2010年ほどにかけてのヨーロッパサッカーの主流戦術、および日本代表の戦術を筆者の観戦やインタビューをもとに書いている本です。サッカー観戦好きにはたまらないです。	自転車通学になったのであまり本を読んでないです……。
座右の銘、好きな言葉は？	「最期の勝ちを得るにはどうしたらいいか考えよ」(黒田官兵衛)	「昨日より今日、今日より明日」※1	「為せば成る」
自分はどんなSEG生だった？	絶対あきらめなかったSEG生	SEGを楽しみすぎるあまり、SEG依存症になりかけた(笑) SEG生 実際1週間SEGに行かない日が続くと、SEGに行きたい!!という思いに駆られていました。	標準的なSEG生
目標とする人・尊敬する人は？	黒田官兵衛 地位や名誉よりも、結果を残すこと自体を欲する質実感が大好きです。	Sir Alexander Chapman "Alex" Ferguson (元サッカー選手・元ManUnited監督) ※2	ある学校の陸上部の顧問の先生 遅い人のベストまできちんと把握して、更新したら褒めていたから。
大学生活の魅力は？	たくさん人がいるので、その中で気の合う人も多く見つけられるところ。	自分次第で様々な活動に参加ができ、その中でいろいろな人に出会うことができる。	自由度が高いところ。
将来の夢は？	まだはっきり決まってないです(汗)。大学の教養課程の2年間でやりたいことを見つけたいです。	具体的には未定ですが、いろんな人にありがとうと言われて、言えるようになる日を夢見しています。	医師

※1 これは僕の囲碁の先生がおっしゃった言葉で、少しずつでも1日1日成長できるように、前を向いていきなさいという意味だと解釈しています。私はこれに加えさらに、人生は地道な変化をするものであって、近道などなく、日々自分にできる範囲の努力をすることが、我々のできる唯一のことだ、という意味も読み取って、受験勉強の計画を組む際の格言として心に留めていました。

※2 サー・ファーガソン(通称ファギー)は、イングランドプレミアリーグの名門マンチェスターユナイテッドで2013年夏まで26年もの間指揮を執った名監督です。四半世紀以上に渡って同じクラブで指揮を執る中で、ファギーはクラブの将来を最重要ととらえ、常に次の試合、次の次の試合、来シーズンの試合、5年後、10年後の試合を見据えてチーム作りをし、様々なタイトルを獲得するという成功を取めました。その幅広い視野、ぶれない姿勢は見習うに値すると思っています。また僕は彼自身のもつユーモアに富んだ人間性も好きです。

一緒にゲームをしたことが印象に残っています。
五三 これは僕にとっては難しい質問ですね。SEGで6年間過ごして、とくに高3時代はほぼ毎日通ってましたから、完全に生活の一部といった感じでした。強いてあげるなら、たくさんの友達ができたことがよかったです。授業が終わった後、友達と話をしながら帰ったり、講習のときの空き時間に一緒に食事したり、そういう時間が楽しかったですね。

野田 他塾にも通っていたのですが、そちらではほとんど友達ができませんでした。SEGは友達ができやすい環境だと思います。もっとも私は、五三君ほど友達ができたわけではありませんが(笑)。それから、高3では、先生との面談が2回ほど設けられています。その場でメンタルのケアをしてもらえたこともよかったです。

遠藤 中1のとき、最初の数学の授業で「マイナスの掛け算をするというのは、180度回すということだね」

と言われて、そんな理由があったのだと、強烈な印象でした。

石田 化学は吉久先生の授業を受けたのですが、第1回目の授業で、元素の反応を機械的に教えるのではなく、元素を擬人化して、「うれしいからこういう反応になるのだね」と(笑)。すんなり知識が頭に入ってきたことを覚えています。

志望大学・学部について
選択肢が広い制度が東大の魅力

大澤 受験の話に移りますが、志望大学・学部を決めた時期と、その理由を聞かせてください。

野田 私はまだ将来の方向性がはっきり決まっています。東大には「進学振り分け制度」があり、幅広く学んだうえで、学部を決められる点に魅力を感じました。あっ、今は「進学選択制度」という名称になった

のでした。

大澤 えっ、名称が変わったのですか。

野田 ええ。大学側に強制的に振り分けられるのではなく、自分の意思で主体的に選択できるイメージにしたいということなのかもしれません。もっとも、学生は皆、いまだに「進振り」と呼んでおり、全然定着していません(笑)。

石田 僕も「進振り」の制度があって、選択肢が広いところがいいと思いました。理系に進む以上、いずれは自分なりの専門分野に特化した研究をしたいと考えていますが、まだ明確になっていないからです。

西角 僕は小さい頃から、科学の本を読んだり、数学の問題を解いたりすることが好きだったので、かなり早い段階から理系に進もうと考えていました。工学系を選択したのは、ロボットを作り、動かすことに興味があったためです。

五三 筑駒は半分以上が東大に入学するので、僕も筑駒に

合格したときから、何となく東大に行くのだろうと思っていました。そのままとくに東大を受験しない理由が見つからなかった。積極的な理由があったわけではありません。医学部に行かないと決めるときからは、もう東大一本です。

遠藤 私は、医学部に行こうというのは早くから決めていました。東大か、医科歯科大にするか迷ったのですが、医科歯科大は、1年次に千葉のキャンパスで学ぶので、自宅から近い東大の方がいいと思いました。
大澤 千葉というか、市川ですね。ちなみに私は市川出身ですが、そんなに遠いところではありません(笑)。そもそも近さで理Ⅲを選ぶ人はあまり多くないと思いますが……。

一同 強すぎる(笑)。



数学の勉強法
クリーム本の反復が効果的

大澤 次に科目別の勉強法を聞きたいと思います。まず数学からお願いします。

五三 東大の問題は、基本的に全問解くことはできません。必要になるのは「解けそうな問題を見つける力」「その問題を解き切る力」「得点に結びつく答案をかく力」の3つです。けれども、「解けそうな問題を見つける力」はなかなか身につくものではありません。実際、僕は最後まで全然できませんでした。そこで、まず序盤に「解く力」を高めようと思い、たくさんの問



題を解きました。そのうえで、高3からはたくさんの問題を解くよりも、むしろ同じ問題を繰り返し解くようにして、ミスのない答案づくりができるように努力しました。具体的な方法としては、おそらく皆同じことを言うと思いますが、クリーム本を5周しました。

		
	西角 哲 東京工業大学第5類 (海城高校)	野田 早紀子 東京大学理科I類 (東洋英和女学院高等部)
後輩に薦める参考書は?	・[DUO 3.0] (ICP) ・[総合英語Forest] (桐原書店) ・[スクエア最新図説化学] (第一学習社)	・[マドンナ古文単語230] (学研マーケティング) ・[センター試験 地理Bの点数が面白いほどとる本] (中経出版) 参考書は、自分が「これだ!」と思えるものを選ぶのが大切だと思うので、参考程度に。
最近読んで面白かった本は?	特にないです。	読書する習慣がないので、何もお勧めできません…… (/-_-)
座右の銘、好きな言葉は?		"The best is yet to be."
自分はどんなSEG生だった?	数学や物理の定理を根本まで突き詰めたり、式の計算より図形による直観的な理解が好きだったり、整数問題が好きで、テストゼミでも易問より難問の整数問題を先に解いたり、簡単な問題は間違える癖に難しい問題は解けたりと、振り返ってみれば、いや振り返らなくても自分はSEG生らしい(?) SEG生だったと思います。	SEGの授業のおかげで、知的好奇心を持って勉強できるようになったSEG生
目標とする人・尊敬する人は?		具体的にはいませんが、何事も一生懸命に全力で取り組む人はみんな尊敬します。
大学生活の魅力は?	時間があるので、高校の時にためらっていたやりたいことに取り組める。好きな授業を選択できる。	様々な場所から様々なバックグラウンドを持った人たちが集まるので、毎日いろんな刺激をもらえるところ。
将来の夢は?	制御系の学科に進学して、ロボット等を動かすことに関わる研究や開発をしたい。	まだハッキリ決まっていますが、ものづくりを通して社会に貢献したいなあ、とボンヤリ思っています。

受験までの私の学習

石田 涼
Ryo Ishida

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた?
だいたい7年分くらい。

◆センター対策としてしたことは?
本番でくじらない自信がつくまで過去問や予想問題を解いた。特に社会をくじらないよう覚えこんだ。

◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は?
夏から夏明けにかけて。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★	・SEGの復習。 ・過去問(25年)を丁寧にやった。 ・特に直前期に追いこんだ。数学は直前期でも充分伸びると個人的に思う。
英語	★★	・一番安定しなかった科目。他塾に通っていたので、その復習や文法の問題集をやった。特に英作文に力を入れた。
化学	★★★★	・SEGの復習。SEGのテキストは、要点をついた良問が多いように感じられました。 ・[化学の新演習](三省堂)を夏に1周した。
物理	★★★★	・SEGの復習。SEGのテキストは、要点をついた良問が多いように感じられました。 ・[名問の森]を3周くらい。
国語	★★★★	・何となく得意な科目だった。 ・古典の文法では、学校などで固めてくれたのでそこまで苦労はなかった。
日本史	★★★★	・過去問を10年分くらい。 ・予想問題(Z会出版)を買って解いた。 ・教科書をひたすら覚えた。



解けなかった問題だけを繰り返すのではなく、以前解けた問題も何回もやるようにしていました。

大澤 テストゼミはどうでしたか。

五三 木村浩二先生の採点はとてもシビアで、最初はこんなところで減点されるのか、マジか、とショックを受けました。けれども、だんだん1問完全に正解できるようになり、そうすると、木村先生が「OK」と書いてくれました。少しずつ減点されない答案がつけられるようになったかなと、手応えが感じられました。

西角 僕は基本的にSEGの授業の予習・復習を中心に勉強を進めました。そのとき僕が考えたのは、どの問題も高校の教科書の定義を使えば解けるはずだということです。そこで、とりあえず答が出るまで、時間をかけてじっくり考えてみようというポリシーを貫きました。そのうえで単に問題を解くだけではなくて、問題を解いた後、その問題が他の問題とどう結びついているのか、あるいは今まで習ってきたことがどのように組み合わせられているのかなどを考えるようにしていました。

野田 SEGでは、クリーム本を「ごり押し」されるじゃないですか(笑)。私もクリーム本を手にした瞬間に、それほど得意ではなかった数学を人並みに戦えるようにするためには、これを反復するしかないと感じました。ただ、周りが「今、何周目」と言っているの、それと比較して焦るのが嫌だったため、自分ではあえて何周目なのか数えないようにしてしま

た。また、テストゼミでは芳しい成績は残せていませんが、大澤先生から「完答することが大切」とアドバイスされ、1問は完答するように心がけました。解けそうな問題を選んで、見直しも2回ぐらいして、自信が持てる1問をつくるようにしたのです。

遠藤 私は高2の1学期からクリーム本の授業が始まりました。

大澤 遠藤さんは「飛び級」していましたからね。

遠藤 でも高2では全然解けず、解説を聞いてもよく分からない状態でした。ところが高2の3学期になって改めてクリーム本を解き直したら、どの問題も解く方針ぐらいは立てられるようになっていました。それで高3になってからも、ひたすらクリーム本を解き続けました。テストゼミは私は最後まで計算が苦手で、数Ⅲのものすごく複雑な計算が出る積分は、半ばあきらめモードで捨てて、数ⅠA・ⅡBを確実にとろうと思っていました。

大澤 今年の東大の3問目は、数Ⅲの積分の問題でしたね。

遠藤 実は捨てました。

五三 えっ。簡単な問題だったのに、もったいない。

石田 僕の場合、クリーム本の授業が始まった時期に、学校行事が重なってしまいました。授業を欠席する日もあり、復習で追いつくのが大変でした。それでも頑張っていてやるうちに、クリーム本は要点が詰まっていると実感し、繰り返し解きました。もともと、数学はあまり得意ではなく、テストゼミも波がありました。一般的には直前期は理科に力を入れた方がいいと言われていますが、僕は数学に自信がなかったので、直前期も返却された模試の答案や大澤先生のテストゼミの解説などを見直して、数学に最も時間をかけました。

大澤 数学が苦手な人に、何か有効なアドバイスはありますか。

野田 私自身、数学が苦手でした。高3の初め頃に、周りで『1対1対応の演習』を解いている人をたくさん見かけました。この問題集もやらないと、どの大学にも合格できないのではないかと強迫観念にかられました。そこで、夏休み前の面談で大澤先生に相談したところ、「クリーム本だけで大丈夫だから」とアドバイスされました。その言葉を信じて、クリーム本と青本だけに集中しました。私のように数学が苦手な場合は、いろんな問題集に目移りしないことが重要だと感じています。

石田 僕は曲線の通過領域が得意でした。この分野の問題だったら絶対得点できるという分野を作っておくことが大切だと思います。

英語の勉強法

多読だけで十分に乗り切れる

大澤 英語はどんな勉強をしましたか。

遠藤 中学では他塾と並行してSEGの多読の授業を受けていました。高校からは多読の授業だけです。高2の終わりまでずっと洋書を読むだけで、ほかに特別な勉強はしていません。文法をきちんと勉強していないので不安はありましたが、それほど数多く出題されるわけではないと思っていました。ところが併願した私大医学部でけっこう出て、間違えました。とはいえ、どの大学でも最も配点が高いのは長文読解であり、多読だけで十分に乗り切ることができました。

西角 僕も多読の授業を受けていました。東工大では、きわめて長い文章の読解が要求されるのですが、多読

をやっていたおかげで文章が長くなってもまったくストレスは感じませんでした。また、海城は長文読解の授業が充実しており、その復習をする中で単語や文法も増強することができました。高校の英作文の教材もハイレベルで、掲載されている例文を覚えるだけで入試でも十分対応可能でした。

石田 僕は他塾に通っていました。最初は模試でも英語が足を引っ張るぐらい苦手だったのですが、市販の単語帳を使って徹底的に単語力を高めたら、少なくとも「爆死」はしなくなりました。やはり英語では単語力が大前提になります。それから先ほど申し上げたように、英語でも得意分野を作っておくことが有効です。僕は英作文に自信があり、入試でも英作文は早めに突破して、それ以外の問題に時間をかけることができました。

受験までの私の学習

五三 裕太

Yuta Itsumi

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★	<ul style="list-style-type: none"> 基本はSEGのテキスト(クリーム本、夏期の東大図形数学に加え、春期の青本も重要)をひたすらに解きました。クリーム本は5周した。 加えて、比較的苦手だった数Ⅲは『1対1対応の演習』(東京出版)を“センター後に”(←遅い!)解いて完璧にして、2月に入ってから過去問を5年分ほど演習した。 テストゼミは、点数ではなく、解いた問題の得点率を最大にすることを意識してあっていたが、そのおかげで少しずつ答案の書き方は身についたと思う。 センター対策は、大手予備校のセンター試験予想問題集を解くことで対応した。
英語	★	<ul style="list-style-type: none"> 勉強不足により、単語力・文法力が著しく低いレベル(センター試験の問題が解けない程)だったので、「速読英熟語」(Z会出版)と「英文法ファイナル問題集」(桐原書店)を何度も繰り返し見て、センターの過去問を大量に解くことで勉強していた。本来の目的はセンター対策ではなかったが、結局はこれが良質なセンター対策にもなっていたと思う。 2次試験前は、いろいろな英作文の答を写して覚えるという作業をしていた。これは実際に英作文を早くこなすいい訓練になったと思う。 東大の過去問は赤本掲載分すべてを12月下旬から定期的に解いて、先生に丁寧に採点していただきました。
化学	★★	<ul style="list-style-type: none"> 物理が好きだったため化学はそこまで重点を置いて勉強はしなかったため、SEGのテキストの復習のみを行った。特にチェックシート(特に無機化学、有機化学バージョン)は何度も何度も解いて、基礎的な知識を体に叩き込んだ。チェックシートは(少なくとも化学のあまり得意でない東大受験者にとっては)本当に素晴らしい参考書・問題集だと思う。早めから目を通して置いて、何度も見返すことをお勧めしたい。 センター直前はチェックシートと予備校の対策問題集で対応した。 東大の過去問は赤本掲載分をセンター後に物理と合わせて解いた。
物理	★★★★	<ul style="list-style-type: none"> SEGのHクラスの授業に予習して臨んで授業を理解していれば特に何か別の勉強は必要なかった。センター前に予備校の対策問題集を解き、その他はテストゼミの解き直しをした。 東大の過去問は赤本掲載分をセンター後に化学と合わせて解いた。
国語	★	<ul style="list-style-type: none"> 現代文は他塾の講座で過去問演習、古文・漢文はセンター試験が近くなってから参考書を用いて集中的に勉強し、センター程度なら解けるようにしました。 センター前は追試も含めセンターの過去問を大量に解きました。 センター後は東大の過去問を古文漢文を15分程解き、現代文は今まで解いた分の復習をしました。
倫理・政治・経済	★★	<ul style="list-style-type: none"> 〈センター試験のみの利用〉 倫理、並びに政治・経済の学校指定教科書を線を引きながら何度も読んで覚えた。 センター入試の過去問を解いて実際に解けるか確認した。

野田 私も他塾に通いました。音読を勧めている塾で、その指示にしたがって、寝る前、起きてすぐなどに母の前で長文を音読していました。

五三 実は、僕に英語の勉強法を聞かれても困ります(笑)。本当に苦手で、その理由は文法と単語が圧倒的に不足していたからです。つまり、単純に努力不足だったわけです。とくに単語力はある程度のレベルには達しておかないと、僕のようにセンター試験レベルの問題にも苦労してしまいます。その意味では、後輩の皆さんには早めに勉強をスタートしてほしいと思います。

理科の勉強法 要点が詰まっている速修のテキスト

大澤 次に理科の勉強法をお願いします。

石田 高3の夏まで、純粋にまったく何も手をつけませんでした。それでも焦りはなかったですね。事前に理科は夏休みに集中して勉強しようと思っていました。実際、夏休みは理科に8割ぐらい割いたと思います。SEGの自習室で、テキストと市販の問題集の問題をひたすら解いたことで力が伸びたと感じています。授業では、物理は雲K先生と佐々F先生の両方に教わりました。雲K先生はどんどん数学的に解いていきますし、逆に佐々F先生は物理を現象的に捉えることを大切にしています。対照的ですが、両方を受けることで相乗効果があり、理解を深めることができました。化学は吉久先生の速修を受けました。

遠藤 SEGで、高1から化学*と、飛び級して物理の授業をとりました。化学は授業の予習・復習だけで、とりたててつまづいた分野もなく、得意科目でした。物理は吉田先生の授業で、最初は解説を聞いて理解できた気がしていたのですが、演習に入ってみると意外に解けません。吉田先生の解説は、ごく簡単な部分は省略されていることに気づき(笑)、そこを自分で補うために必死で演習を通して勉強し、高2までで固めることができました。それによって、高3では英語と数学に力を注ぐことができました。

野田 化学は高1から吉久先生に教わり、少なくとも足を引っ張る科目ではありませんでした。物理は佐々F先生の速修をとりました。物理を数学ではなく、あくまで物理現象として解く授業で、それが私には合っていたと思います。

西角 僕も高3で、佐々F先生の物理の速修を受けました。佐々F先生は、テキストに掲載されているすべての問題の典型パターンを押さえないとアドバイスされており、それを守ろうと思っていました。ところが、夏までは英語と数学の勉強に時間がかかり、物理の復習まで手が回りませんでした。秋から物理を本格的に勉強し始めましたが、かなりボリュームがあり焦りました。それでも粘り強く問題演習を続けていたら、直前になって伸びた感じがします。逆にいうと、直前までなかなか伸びなかったのですが……。化学は直前になって、SEGの東工大対策講座を受けただけです。

五三 僕は、小学生のときは理科が最も得意で、理科で筑駒に受かった感じがします。そのため、理科はそれほ

*現在、高1化学(3年コース)は開講されていません。

ど勉強しなくてもできるだろうと思い、高1から受けることができた化学の授業も、高2までとっていませんでした。そんな僕が感動したのが、高2で受けた吉田先生の物理です。今、東大で学んでいる物理の授業よりも深く、面白い授業で、毎週通うのが楽しみでした。吉田先生は授業中によく生徒に「これについてどう思う?」と質問を投げかけます。簡単には答えられないような質問で、しかも生徒が答えられないと、とてもうれしそうな顔をします。

一同 (爆笑)。

五三 そこで、僕は絶対に答えてやるぞという気持ちで勉強しました。高2の冬になって、そろそろ化学も勉強しなければならないと思ったのですが、東大の理科は、150分で2科目合計の得点で判定されると知り、あまり化学に力を入れなくてもいいと考えました。阿部先生の授業を受けて、困らない程度に勉強しようと思い、基礎は完璧だけれども発展的な問題にまでは踏み込まないという姿勢を通しました。一方で、物理は吉田先生の手引きで大好きになりましたが、それだけで問題が解けるほど甘いものでもありません。12回のテストゼミを受けて、問題を解く力が急上昇し、そこから物理が完全な得意科目になった感じがします。吉田先生の授業の10数冊におよぶノートは現在も保存しており、テストゼミのときにもよく読み返していました。

大澤 吉田先生の授業は具体的にどんなところが面白かったのですか。

五三 微分積分の記号も全部使います。しかも、生徒に何のことわりもなく(笑)。最初は先生の解説がまったく分かりませんでした。それを頑張って何とかついていくと、突然視界が開けてきます。高校物理にありがちな、微分積分を使わないで、厳密にいうと正しくない感じがなく、本物の物理の体系が学べ、好きになっていきました。

石田 物理速修のテキストは、要点が詰まっています。それほど難しくなく、しかもこのテキストだけでその単元をきちんとカバーできる、ちょうどいいレベルだと思います。僕はこのテキストの勉強に集中しました。

西角 僕も同じですね。

大澤 そのほか理科の勉強法で何かいいアドバイスはありませんか。

野田 しょうもない話ですが、私は物理が苦手だったのですが、過去問を解く前に、深呼吸をするようにしたら、突然目覚めて解けた経験があります。

一同 (爆笑)。

野田 それから、高3の冬にもう一度物理を基礎から見直そうと思い、『物理のエッセンス』を3日間やりました。それによって、SEGのテキストがすんなり理解できるようになりました。



国語・社会について 早めの対策を心がけよう

大澤 文系科目についてもお聞きしましょう。まず国語はどのような勉強をしましたか。

五三 それを僕に聞いてしまいますか(笑)。嫌いな科目の勉強はしたくないタイプなので、英語と同様に放置してしまいがちで後悔しています。というのも、センター試験直前に過去問を解いたところ、古文と漢文が2問ずつしか正解できなかったからです。あわてて『マドンナ古文』、『漢文ヤマのヤマ』を買ってきて1冊仕上げたら、普通にできるようになりました。こんなことならもっと早めに勉強しておけばよかったと後悔しました。そうしておけば、直前にほかの科目の勉強ができたはずだからです。僕は理科が比較的固まっていたのでよかったのですが、直前期に理科に時間をかけられないのは痛いケースが多いと思います。ですから僕の反省を活かしていただけるなら、とくに古文・漢文は早めに勉強しておくことをアドバイスしたいですね。

西角 センター試験でも、古文はかなり難しい文章が出されます。早めに対策を立てて、読み慣れておいた方がいいでしょう。僕は古文・漢文が苦手だったので、基本文法だけはきちんと押さえるようにしました。

野田 高2の7月から、他塾の通信添削を受けていました。入試本番で同じ文章が出されたのでラッキーで

受験までの私の学習

遠藤 理子

Riko Endo

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた?
SEGのテキスト以外ほとんど参考書類を使わなかったこともあり、SEGのテキストをきちんと復習できたな、と思った科目は過去問をやり始めました。数学6月～、物理6月～、化学7月～、英語7月～、国語8月のみ。数学・物理・化学は12年分、英語7年分、国語5年分だけ解きました。

◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は?
数学はどちらかといえばずっと苦手意識があったのですが、高2の3学期にクリーム本を丁寧に復習したら、手も足も出ないという問題はあまりなくなりました。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★	クリーム本を何回かやった後は、テストゼミの復習と過去問。
英語	★★★★	高2まではほとんど多読のみ。高3では、テストゼミの復習、過去問。
化学	★★★★	高2まではSEGの予復習のみ。高3に入ってから過去問を解いた。
物理	★★★★	高2まではSEGの予復習。高3の夏前にSEGのテキストをもう一度復習して過去問を解いた。
国語	★	夏くらいに東大の過去問を何回か解いたくらいで12月まではほとんど何もやらなかった。年が明けてから、古文と漢文の参考書を買ってきて一通り勉強し、センター試験過去問を10年分ほど解いた。
倫理、政治・経済	★★★	12月までは模試の復習をするぐらいで、本気で始めたのは1月になってから。参考書を一冊読み、過去問、予備校の予想問題集を20回分くらい解いた。



した。ただし、センター試験の出題が独特で、なかなかセンター模試の得点は伸びませんでした。12月下旬に胃腸炎にかかったときに、ベッドで横になってセンター試験の過去問ばかり解いていたら、何とかできるようになりました。胃腸炎で倒れなかったら、やばかったかもしれません(笑)。

遠藤 私は理系科目は早めに固まっていたので、高2の終わりから国語の勉強をやりようと思い立ち、他塾の授業を受けました。ところが、難解すぎて理解できず、そのまま放置していました。高3の1月になって、これではいけないと思い、古文・漢文の最も薄い問題集を購入して解きました。『SPEED 攻略10日間』などです。それでセンター試験は何とかなったのですが、2次試験は全然ダメでした。

石田 僕は高2の冬に成績をアップさせようと思っていて、そのためには他の理系の生徒があまり勉強していない国語と社会を勉強すればいいのではないかと考えました(笑)。それで国語の成績が伸び、早めに対策してよかったと思っています。ただし、センター試験の国語は、実力が単純に得点に直結しない面があります。ゲーム的というか、独特な出題だからです。過去問などで慣れておくことが肝心です。とくに国語に自信を持っている人ほど、慢心せずにセンター試験対策をすることが大切だと思います。

大澤 社会の勉強法も教えてください。

野田 私は地理を選択しました。12月初旬にセンター

プレ模試を受けて、ロト6感覚で選んだら(笑)、47点しかとれず膝から崩れ落ちました。それから必死で勉強しました。ただし、地理は古い問題を解いてもデータが変わっている場合があるので、センター試験の過去問は10年分ぐらいにして、センター予想問題集などを解き漁りました。もっと早めに勉強しておけばよかったと後悔しています。

西角 もともと歴史好きだったので、日本史を選択し、比較的得意でした。センター試験問題集を解いたぐらいで対応できました。

石田 僕も歴史好きで、日本史を選択しました。模試の際に高校内で順位が出るのですが、理系クラスなのに社会に強いというのはネタ的に面白いのではないかと思います。日本史1位をめざして頑張っていました。センター試験では、コンスタントに9割超えの得点ができるように、教科書は丸ごと頭に入れるようにしました。

五三 倫政を選択し、12月から勉強を始めましたが、全然得点力は伸びませんでした。社会も早めの対応が大切です。

遠藤 私も倫政を選択しました。夏休みの合間に勉強しようと思っていたのですが、なかなか身が入らないので時間の無駄だとあきらめ、年明けに回しました。結局、1月から参考書を1冊読んで、センター試験の1週間前に予想問題集を本屋に買いに行ったのですが、遅すぎてもう置いてありませんでした。そのため、過去問を解いただけです。危険な勉強法だったと反省しています。

夏休み、冬休みの過ごし方

計画的に過ごすことが大切

大澤 夏休み、冬休みの過ごし方について、アドバイスをお願いします。

遠藤 夏休みは講習はあまりとらず、数学はゼロにしました。自宅で自分の勉強に専念し、SEGの高2・3のテキストを引っ張りだしてきて、全部解き直しました。冬休みは12月の冬期講習の予習・復習が中心でした。年明けからは2次試験の勉強は置いて、完全にセンター試験対策に取り組みました。

石田 先ほど言ったように、夏休みは理科を徹底的に勉強しました。ふだんはローテーションがあり、どうしても授業の復習に追われるので、自由な時間がとれる夏休みしか理科を伸ばせる時期はないと覚悟を決めて臨みました。冬休みは、講習の復習とセンター試験対策を行いました。

西角 夏休み前までの授業の予習・復習で、どうしてもやり残したままになっているものがあると思いま

す。夏休みはその消化と、自分なりの課題を発見する時間を設けた方がいいでしょう。そのためには、夏期講習を詰め込みすぎないようにすべきです。僕自身は、けっこう数多くの講習を入れてしまったという後悔があります。冬休みはセンター試験対策として、過去問を時間厳守で解く練習を中心にしました。

五三 いつもは、週ごとのルーティーンが決まっています。どの曜日に何の科目の勉強をするのか分かっており、それにしたがっていけばどの科目もまんべんなく勉強できます。けれども夏休みになると、そのルーティーンが途切れてしまいます。そこで勉強の予定が組めなくなるのは危険だと感じて、自分で簡単な週ごとの予定表を作成しました。その日勉強する科目・内容を書いて、完全に達成するのは無理でも、できるだけ消化するように心がけました。そして、夏休みは1日に数多くの科目をやるのではなく、今日は数学、明日は化学といった具合に、集中して勉強しました。ちなみに冬休みは逆に、1日にいろんな科目を勉強するような計画にしました。受験生としては、とにかくもったいない時間を過ごしたくないはずで、予定を立てることが重要になります。

野田 私も週ごとの予定を立てようとしたのですが、自分にノルマを課しすぎて、消化できないものがどんどんたまってしまいました(笑)。そこで、毎日その日に勉強することを決めるようにしました。そのとき心がけたのは、数学と英語は毎日触れていないとすぐに力が落ちるので、必ず勉強するようにしたこと。受験科目全部に触れた日もあります。冬休みは理科の過去問を中心にやりました。夏休みと同様に朝やりた

いことを決めるのですが、それでも消化できないものが出てくるので、日曜日を「借金返済日」に当てていました。そうした調整日を設けることが重要だと思います。

部活動、学校行事との両立

やりきった方が、切り替えがスムーズ

大澤 部活動や学校行事との両立についてはいかがですか。

五三 囲碁部の部長で、通常は高2の文化祭で引退なのですが、僕は高3でも選手だったので、塾がない日は部活に行っていました。また、筑駒は11月に行われる文化祭を高3が主体となって運営します。僕は食品班の衛生管理担当で、ほかの班員は関係する食品のときだけ参加すればいいのですが、衛生管理はすべての食品をチェックしなければなりません。そのため、9月以降の週末は毎週のように高校に行っていました。その意味では、勉強時間が削減されたことは事実です。けれども、まったく後悔はありません。とくに東大の入試では、そうした経験が役立つと考えているからです。高3まで部活動を続け、プレッシャーがかかる中で囲碁の試合をして、勝つ喜びも味わいました。文化祭では食中毒を出さないようにという重圧を感じつつ、直前には睡眠時間4時間ぐらいの日々を過ごしました。正直なところ、きつい思いもしましたが、その経験があったからこそ11月以降の勉強を軽く乗り切ることができた気がします。東大は勉強だけをしていれば合格できる大学ではなく、多様な経験が糧にな

受験までの私の学習

西角 哲
Satoshi Nishikado

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★★★	SEGと学校の復習がほとんどでした。過去問はかなり直前に解きました。(得意度指数:SEG生はレベルが高いので、塾内だともう少し低いかも)
英語	★★★	SEGと学校の復習がほとんどでした。過去問はかなり直前に解きましたが、センター対策はかなり早めからやりました。読解や単語の勉強でも、なるべく音声を活用しました。
化学	★★★	学校と大数ゼミの復習を主にやりました。
物理	★★★★	SEGと学校の復習がほとんどでした。
国語	★	

◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？

【クリーム本】
授業で使った後も、全体の復習をする時に使ったり、新しい問題と照らし合わせて、共通点や使えるところはないかを探したりしました。
【DUO】
単語の暗記や確認だけでなく、英作文のタネとしても使いました。

◆学力が伸びたと手応えのあった時期とその勉強方法は？

英数は夏ごろに手ごたえがありました。学力が中々伸びない中、基本的な事項の確認や演習を続けていました。

自分の勉強方法はこのアンケートの通りですが、これは「こうやれば必ずうまくいく」というものではないです。これはあくまで自分が決めた仕方、ベストな方法でもないと思います(結果として合格点は取れましたが)。勉強の仕方は、試行錯誤して自分なりの方法を見つけ出すのがよいと思います(もちろん、先生に質問するのは悪くないことです)。

る大学だと思えます。

大澤 文化祭の頃は、SEGの授業をけっこう休んだこともありでしたね。

五三 それでも、授業の最後の10分だけでも出席できるようなら来るようにしていました。何の意味もないと思われるかもしれませんが、僕はそんな姿勢こそが大切だと思っていたのです。

石田 僕はまったく両立できませんでした。部活はオーケストラで、高2の9月に引退するので影響はありませんが、開成は運動会にものすごく力を入れているので。今思えば、勉強の時間も十分にとれたと思うのですが、行事をやっているときはやる気がおきません。勉強は切り捨てて、行事が終わった後、背水の陣で頑張ろうと考えていました。運動会では生徒が作った応援歌を観客に投票してもらい、順位をつけるイベントがあったのですが、僕の応援歌が受賞しました。それで、よし次は勉強だと気持ち切り替わりました。行事はやり切った方が、その後の切り替えがスムーズにいくと思います。

西角 僕は鉄道研究会で、それほど忙しい部活ではありませんでした。高2の文化祭で引退し、高3の文化祭も少し手伝いましたが、受験勉強に影響が出るほど

ではありません。

野田 私もシーズンスポーツのスキー部だったので、それほど忙しくありませんでした。ただし、高2まではオーケストラに入ったり、文化祭実行委員を務めるなど、それなりに多忙な日々でした。高3ですべて引退したのですが、私の学校は高3の5月に2泊3日の宿泊行事があります。行く前は「受験生なのにいいのか」と思っていたのですが、かえっていい気分転換になった気がします。

遠藤 私は運動部に所属しており、高3の6月までやり切りました。もっとも、5時半までに下校しなければならぬ決まりになっていたため、両立に支障はありませんでした。ただ、9月末に運動会があり、高3で審判長を務めたので、夏休み明けから運動会まではあまり勉強できなかったですね。

後輩たちからの質問
睡眠時間、自習室の活用など

大澤 私のクラスで、今日、座談会が行われることを話したら、ぜひ聞いてきてほしいと言われたことがあります。まず睡眠時間から教えてください。

遠藤 高3になってから、意識的に早く寝るようにしていました。通常は11時、夏休みは10時に就寝し、朝6時に起床して、陸上部ですから自宅の周辺をちょっと走ってから勉強していました。それが私の生活のリズムになっていました。

石田 睡眠時間は一人ひとり違うでしょう。それも含めて、どんな生活リズムが自分に適しているのか、主体的に決めることが大切です。僕は、休日は昼近くまで寝ていたこともあります。さすがに直前期はそれではいけないと思い、9時には起きるようにしました。睡眠時間は7～8時間は確保していました。

野田 私も睡眠時間6時間だとフラフラになってしまうので、7時間は寝るようにしていました。11時就寝、6時起床のペースですね。

大澤 休憩はどのようになっていますか。

野田 勉強の区切りがいたら、気分転換に部屋やお風呂で、フンフンと歌っていました(笑)。この問題が解けたらこのオヤツを食べようというのを、励みの材料にしたこともあります。

遠藤 休憩はそのときの気分というか、飽きたら休憩していました。科目にもよりますが、だいたい1時間半勉強したら休憩するといったペースです。

西角 疲れを感じたら10分ぐらい横になって、それでも疲れているようなら、すぐに寝てしまう感じでした。無理してやるよりも、翌朝早く起きて勉強した方が効率的だからです。睡眠時間は短くても6時間は確保していました。

五三 終わらないからといって、睡眠時間を削るのだけは避けることをモットーにしていました。終わらないのは自分のせいなので。だいたい11時には寝て、8時に起床していましたが、直前期は7時起床に早めました。休憩については、僕の勉強している姿を見てもらえば分かるのですが、リラックスした格好で勉強しているのでまったく疲れないのです。とくに休憩は必要なく、物理や数学の勉強が休憩のような感じでした。

大澤 自宅とSEGの自習室、どちらが効果的に勉強できたかという質問も多かったのですが……。

五三 今いったように、僕はリラックスした格好で勉強するスタイルで、ブツブツ独り言も言います。そのため、自分の部屋をカスタマイズして、歩き回りながら勉強できるスペースも作ったほどです。

野田 大学で五三君と同じクラスなのですが、スペイン語の小テストの前に、ものすごくしゃべりながら勉強しているのを見て、びっくりしました(笑)。

五三 いや、その方が集中できるし、僕としてはお勧めなのだけど。もっとも、周りに迷惑だろうという自覚はあって、自習室は利用しないようにしていました。



ただ、僕は一人っ子で寂しがり屋なので、自宅ですと一人で勉強していると寂しくなってしまうのです。そんなときは、SEGに行って友達と話をして気を紛らわしていました。

石田 僕は、夏・冬休みと、平日の学校がない日は自習室で勉強していました。自習室では「勉強するぞ」といったオーラが満ちており、集中できる環境でした。日曜日は、自宅近くに勉強しても追い出されないカフェがあり、よく利用しました。

野田 SEGの授業がある日は自習室を活用しましたが、それ以外の日は、自宅から遠かったため、自宅での勉強が中心です。けれども、夏休みは自宅勉強の気分になれず、近くに3つある図書館をはしごしました。冬休みは、無駄に外出してインフルエンザにかかるのが怖かったため、自宅勉強しました。それでも結局、胃腸炎になってしまったのですが。

遠藤 夏休みは講習をとっていませんでした。新宿まで来る用事がなく、自宅勉強しようと思ったのですが、姉と相部屋なので、出て行きたいな感じで(笑)。仕方なく国語だけ夏期講習をとっていた予備校の自習室を使いました。私はあまり環境にはこだわらないタイプでしたね。

西角 僕は自宅と自習室を併用しました。そのほか、授業の開始前に早めに行き教室で勉強することもありました。

受験までの私の学習

野田 早紀子
Sakiko Noda

◆繰り返し使っていたテキスト・問題集とその活用方法は？

『クリーム本』
その重要さは言うまでもないですが(笑)、何度も解きました。受験の1年を通して、常に何度も見直したりして、数学的思考方を確認しました。

◆過去問はいつ頃から何年分くらい解いた？

夏休みから解きは始める人もいますが、過去問は自分の実力がある程度ないと、解いても力にならないと思ったので、11月後半くらいから解きははじめました。それでも十分に間に合います！

◆SEGの授業の予習・復習の仕方は？
予習の段階で分からない問題があったとしても、できるだけ粘って考えました(その方が、結局分からない問題があっても、授業での解説のとき、より印象に残るので)。

科目	得意度指数	学習方法
数学	★★★	夏休みが終わるまでは、数学を一番重点的にやっていました。クリーム本、青本を、各分野の基本的な考えをベースに解けるように、何度も繰り返し解きました。テストゼミの期間は、テストゼミの復習と、自分の間違えた分野について、クリーム本、青本を見直して再び解いて復習しました。冬以降も、演習の復習と並行して同じように復習しましたが、それに加えて冬休み中、センター後、私大後に解き直しました。過去問は10年ちょっと分くらい解きました。
英語	★★★★	単語帳などを使って暗記せず、ひたすら他塾の教材を音読していました。過去問は3年分くらい解きました。
化学	★★★	SEGのテキスト、テストゼミの復習ばかりしていました。過去問は10年ちょっと分解きました。分からなくなったら、該当箇所の授業ノートを見直したりして復習しました。
物理	★★	速修のテキストを何度も繰り返し解きました。冬には、基礎の確認のため、『物理のエッセンス』(河合出版)を解きました。過去問は10年分解いて、『東大物理の25ヵ年』で苦手な項目を優先して解きました。それでもつまずいたら、基礎に戻って復習しました。
国語	★★★	二次対策としては、他塾の通信添削をやっていたので、その復習と、過去問演習(10年分)をしていました。古文単語は12月中に『マドンナ古文単語』を使って覚えしました。センター国語は10年分大問毎ばらばらに解いて、時間を測ってやりました。
地理	★★★	『センター地理の点数が面白いほど取れる本』を読んでました。12月くらいから過去問、予想問題、模試の問題をとにかく解きまくりました。あと、センター直前の時期、毎朝、白地図に気候区分や農業区分とかを何も見ないで描いてました。



大学の授業

好きなテーマを選べるゼミ

大澤 大学に入って、お勧めの授業はありますか。

野田 初年次ゼミナールで、建築系のゼミを選択しました。毎回、光の取り込み方などを工夫して自分の好きな空間の模型を作っています。そのほか「空間デザイン実習」というゼミも履修しています。土曜日に朝8時半から夜6時まで、茗荷谷にある東大の施設で行われる実習です。とても人気があり、選抜試験が課されたほどです。こうしたゼミを通して、建築への興味が生まれてきました。

遠藤 初年次ゼミナールは1年生全員必修で、自分が好きなテーマを選ぶことができます。私は「力学的に速く走ろう」というゼミを選択しました。光電管を設置してセンサーをつけて走る実験を行うのですが、男子学生もたくさんいるのに陸上部だった私の方が再現性が高いからと言われて、毎週50メートル走らされています(笑)。

西角 東工大は、工学系としてはめずらしく文系科目が充実しています。たとえば「コラムランド」という科目は、与えられたテーマについて皆が思い思いに文章を書いて、TA(ティーチング・アシスタント)の大学生が選んだ文章に関してディスカッションします。人気の授業で、抽選が行われています。そのほか、後期では池上彰先生の授業も履修するつもりです。

石田 数学の授業では、僕たちは学んでいない行列が出てきました。かなり難解ですが、複素数よりも重要

な分野だと感じているので、しっかり勉強しようと思っています。数学も物理も、高校までより抽象的な世界に入った感がありますが、つながり、広がりも感じられ、楽しいですね。

五三 僕は東大の物理よりも、吉田先生の方がすごいと思っています。今年も吉田先生の授業を受けたいぐらいです(笑)。それから、大学では授業ごとに受講する学生が異なります。さまざまな学生と知り合う機会があることが楽しいですね。「英語中級」の授業は、TED.comを見てディスカッションとプレゼンテーションを行う授業だったのですが、最初に自己紹介をしたとき、僕の名前の裕太は英語では言いづらいので「デイクと呼んでください」と冗談で言ったら、思わず人気者になってしまいました(笑)。今でも皆からデイクと呼ばれて、たくさんの友達ができました。この「英語中級」の授業は楽しかったのですが、個人的には授業は楽しいかどうかではなく、自ら楽しむものだと思っています。その気持ちがあれば、どの授業も楽しめるという気がします。

将来の夢

学びの中で方向性を見つけたい

大澤 皆さんの将来の夢を聞かせてください。

石田 恥ずかしいことに、まだ決まっていません。先ほど言ったように、選択範囲が広いことで東大を選んだので、これからの2年間を無駄にせずやりたい分野を見つけたいと思っています。

五三 とりあえず大学院に進学したいと考えており、方向性はあえて考えないようにしています。僕は一人でコツコツ研究する分野は耐えられない気がするので、人と触れ合い、その中で信頼関係が築けるような仕事をめざしたいですね。

野田 私もまだ決まっていません。ただ、大学入学後、建築、社会基盤学、街づくりなどに興味が出てきたので、その分野に進みたいという気持ちになっています。

西角 ものづくりの世界に進みたいです。東工大にはロボット関連の授業もあるので、楽しみにしています。

遠藤 医師を志望しています。最初に医師に興味を持ったのは、推理小説を読んだとき、死亡推定時刻が出てきて、それをもとに探偵が推理を働かせるのですが、本当にすごいのはそのデータを出した医師ではないかと思ったことがきっかけです(笑)。親も医師で、最近になって臨床への関心も生まれてきました。医学部で学ぶ中で、臨床、研究のどちらの道に進むのかを考えたいと思います。

後輩へのメッセージ

受験勉強を楽しんでほしい

大澤 最後にSEGの後輩たちに向けて、メッセージをお願いします。

石田 受験期は、よく逆転が起こります。最上位層は固定化しているかもしれませんが、夏休みに頑張った人が急激に伸びて、追い抜いていくこともよくあります。ですから、現在成績が悪い人もあきらめる必要はなく、絶対追い抜いてやるという思いで粘り強く頑張してほしいですね。また、受験勉強の方法は多種多様です。先生のアドバイスは参考にはなりますが、そのまま真似るのではなく、自分で主体的に戦略を練ることが重要です。

遠藤 入試で出題される範囲はものすごく広いと感じているかもしれませんが、私は理系科目はSEGで与えられたものだけで合格することができました。ですから、SEGの授業とテキストを大切にしてほしいですね。

野田 何事も全力で取り組むことが重要です。高3からと、学校行事に手を抜くと不完全燃焼になって、かえってメンタル的に勉強に集中できなくなってしまいます。それから、受験勉強を楽しみましょう。もちろん、楽しいことばかりではなく、すごく落ち込み、つらいこともあるでしょう。そんなときは、思い切り泣いて、発散して、引きずらないことが大切です。

西角 僕も受験勉強は楽しんだ方がいいと思います。SEGで数学や理科の面白さに目覚めたはずですから、問題を解くときも、それを思い出してください。

五三 SEGという場を最大限に楽しんでほしいですね。僕はSEGに来ることが何よりの楽しみでした。それは素晴らしい先生と授業があり、たくさんの友達に会えたからです。また、僕は必ず警備員さんに挨拶するようにしていたのですが、事務職員の方々や、警備員さんも含めて、数多くの方々に支えられたことにも感謝しています。

大澤 さまざまなアドバイス、ありがとうございます。本日はお疲れさまでした。

卒業生からのメッセージ

・東工大志望の方へ

東工大は、数学で点を稼いで英語が壊滅的でも合格する人がいますが、そういう人は入学してから苦労します。高校のうちから苦手を無くして、バランスよく得点できるようにしましょう。

・失敗したときやうまくいかないときでもめげずに前向きにとらえてください。

西角 哲

受験期、逆転は頻繁に起こります!成績の良い人は油断せず、良くない人はハングリー精神を持ってがんばってください。

石田 涼

中学生・高校生でいられるのはそれぞれたったの3年間だけです。悔いの無い充実した日々を送ってください。

五三 裕太

SEGは大学受験を楽しんで乗り切るには最高の場だと思います。楽しみつつ受験を乗り切ってください!

遠藤 理子

自分を信じて、辛いことがあっても絶対に諦めないで、努力し続けてください!!!応援しています!!!

野田 早紀子